

# 共創による新しい地域価値の創造 カーボンニュートラルの先にあるCo-ベネフィット型未来都市に向けて



大阪府 阪南市

# 阪南市の概要

## 1. 市の現況と課題

- 大阪都市近郊にありながら、山と海が近く、浅瀬や干潟等の豊かな自然が残された都市。
- 高度経済成長期以降に開発された住宅地で人口が増加。今後急激に少子・高齢化が進む。  
(令和4年3月末時点、人口51,943人、高齢化率33.9%)
- 持続可能な地域社会を形成していくためには、地域資源を生かした経済循環が必要。



### 社会

- 自治基本条例に基づく協働のまちづくり
- 市民協働事業提案制度・行政サービス協働化制度の推進

市民一人ひとりが知恵や能力を発揮して活躍できる場・仕組みづくり

### 経済

- 地勢を活かした一次産業や繊維産業が発展
- 地場産業の優れた技とものづくりの心を活かす「阪南ブランド十四匠」の創設

多様な主体との連携・地域資源を活用した地域経済の活性化

### 環境

- 全国アマモサミットの開催
- ブルーカーボン・オフセット制度による認証
- ゼロカーボンシティ宣言

誰もが住みたい・住み続けたいと思える持続可能な地域づくり



## 共創による新しい地域価値の創造

## カーボンニュートラルの先にあるCo-ベネフィット型未来都市に向けて

### 統合的取組

お茶とアマモから始まる  
カーボンニュートラル！

「はんなん・Co-ベネフィット」  
創出プロジェクト

(仮称) はんなん・  
Co-ベネフィット創出  
協議会  
(産官学金)

市民

企業・団体

### 経済

### デジタルを軸とした域内交流の循環



- 都市圏向け地魚販路拡大・サイバーマルシェ
- 関係・交流人口拡大推進事業(デジタル田園都市国家構想推進交付金の活用)
- 域内活性化を目的とするESGプラットフォームの構築
- 大阪・関西万博「TEAM EXPO 2025」プログラムを活用した 実証実験(デマンド交通)

### 社会

### 健康寿命の延伸・

### 地域コミュニティの充実



- お茶を軸にした健康づくり事業
- 健康寿命延伸を目的とした検証研究事業
- 健康増進メニューの開発・食品ロス削減のための食育事業の展開
- 関西国際空港に近接する立地を活かした定住・移住の促進

### 環境

### カーボンニュートラルの実現・

### 農地の保全・魚庭の海の再生



- アマモ場再生の実証事業
- ゼロカーボンシティ宣言の取組推進
  - 里山: お茶畑グリーンカーボン推進事業(伊藤園)
  - 里海: アマモ場再生ブルーカーボン推進事業(漁師鮮度)
- 環境保全事業×海洋教育などの推進

(海洋教育パイオニアスクールプログラム)





# 三側面をつなぐ統合的取組

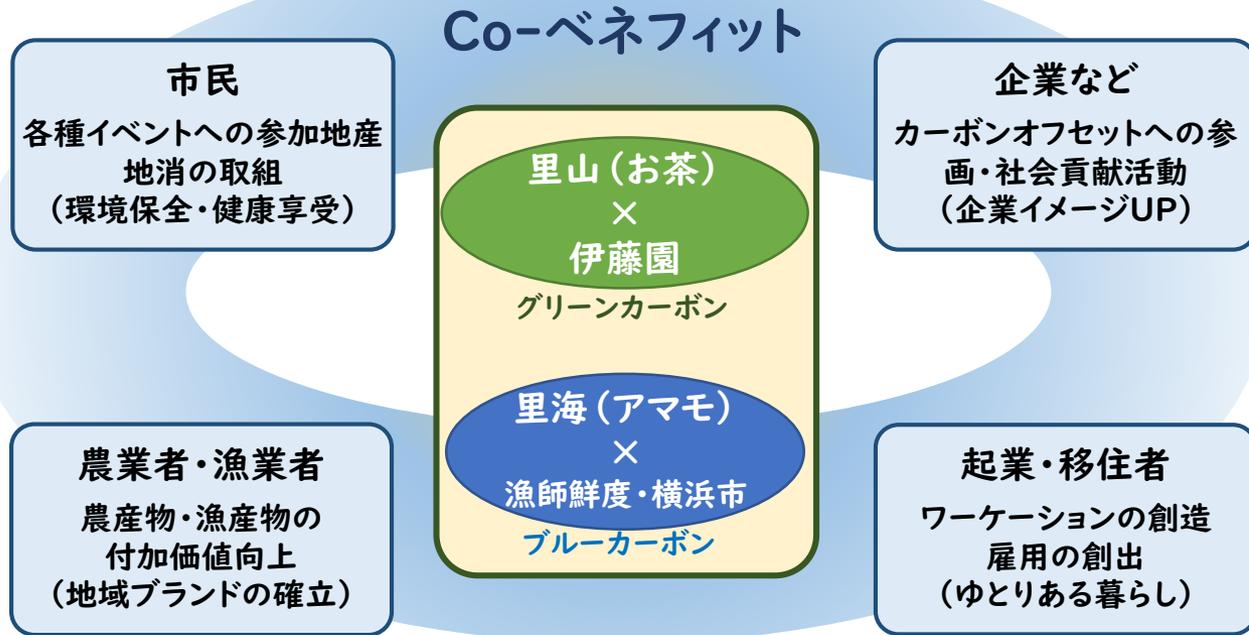
## お茶とアマモから始まる カーボンニュートラル！ 「はんなん・Co-ベネフィット」創出プロジェクト

### 創出される効果

新たな地域ブランドの確立

関係・交流人口の拡大

環境・ふるさと意識の醸成



多様な企業との共創

包括連携協定企業・団体等(13団体)

カーボンニュートラルを起点とした  
自然(里山・里海)と人が共生する持続可能なまちの実現



# 三側面をつなぐ統合的取組①

## 陸と海からカーボンニュートラルを実現

【2022年度：補助対象45,000千円】

### ①遊休農地をお茶畑に転換しグリーンカーボンを推進

阪南市

×(共創)

伊藤園

- ・IT・ドローン等を活用した栽培、茶畑の生育によるCO2削減量のカーボン・オフセット認証制度を創設

効果:遊休農地の削減(1.4ha)・CO2の削減(92トン/ha)



### ②アマモ場(漁場)再生によるブルーカーボンの推進

阪南市

×(共創)

太平洋セメント  
大阪公立大学

- ・クリンカ等の海藻藻類や生物への生育に対する影響を把握するための実証事業、横浜市とのブルーカーボン事業を拡充

効果:水産物販売拡大(1.5倍)・CO2の削減(4.6トン)



### ③環境教育推進の拠点整備

阪南市

×(共創)

環境保全  
活動団体

- ・廃園となった幼稚園を活用し、環境教育推進の拠点を整備・ICT等を活用した海洋教育の実践開発

効果:里山・里海づくりの取組の拡大(3件)・郷土愛の醸成





## Co-ベネフィット創出により、新たな消費や交流人口を拡大

【2022年度：補助対象15,718千円、その他35,259千円】

### ①お茶の栽培や漁場の再生にあわせ、新たな地域ブランドを確立



阪南市

× (共創)

商工会

・「阪南ブランド十四匠を軸に食の新ブランド「KUU」食う」の構築・高付加価値製品製造のための加工施設整備

効果:新しいブランドの創設・認証企業の増加(34社)

### ②陸や海で体験型コト消費の機会を拡大し阪南ファンを拡大

阪南市

× (共創)

各種団体

・環境保全活動の継続・関係・交流人口の増加を図り・阪南ファンを拡大

効果:イベントへの参加者数の増加・産直市の開催(3回)



### ③普及啓発の推進プラットフォームの構築

阪南市

× (共創)

協議会

・市内におけるSDGs活動を啓発するとともに、市民や企業が登録することのできるプラットフォームを構築

効果:共創チャレンジ取組数(5件)・地域運営組織の設立(4団体)



2022.04.07

お茶で世界を変える、伊藤園×阪南プロジェクト

「お茶のある暮らし」プロジェクトとして、阪南市をフィールドにさまざまなバ...



2021.12.03

全国・世界へ発信!! マスターズCafe

認知症の方や介護者がウエイターを担い、カフェ参加者と会話を通じて楽しく...



## 阪南に集まる人々のゆとりある時間（生活）を創出 【2022年度：その他9,942千円】

### ①「お茶のある暮らし」をキーワードにした 市民の健康づくりを推進

阪南市

×（共創）

伊藤園・徳島大学  
社会福祉協議会

- ・「まちなかカフェ・サロン」へのグリーンサポータ制度の導入、緑茶が持つ機能・価値を活かした健康・コミュニティづくり

効果：市民の健康寿命の延伸



### ②漁場の再生や体験型コト消費の拡大等を通じた 新たな雇用の創出

阪南市

×（共創）

伊藤園  
漁師鮮度

- ・短時間ワークを通じた子育て世代や障がい者等の働く場の創出

効果：雇用の場の創出



### ③ゆとりある時間（生活）の実現に向けた、テレワークステーション、 遊休施設を活用したサテライトオフィスなどサードプレイスの整備

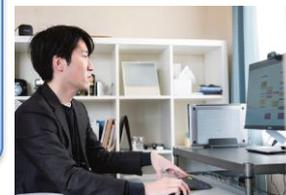
阪南市

×（共創）

市外企業

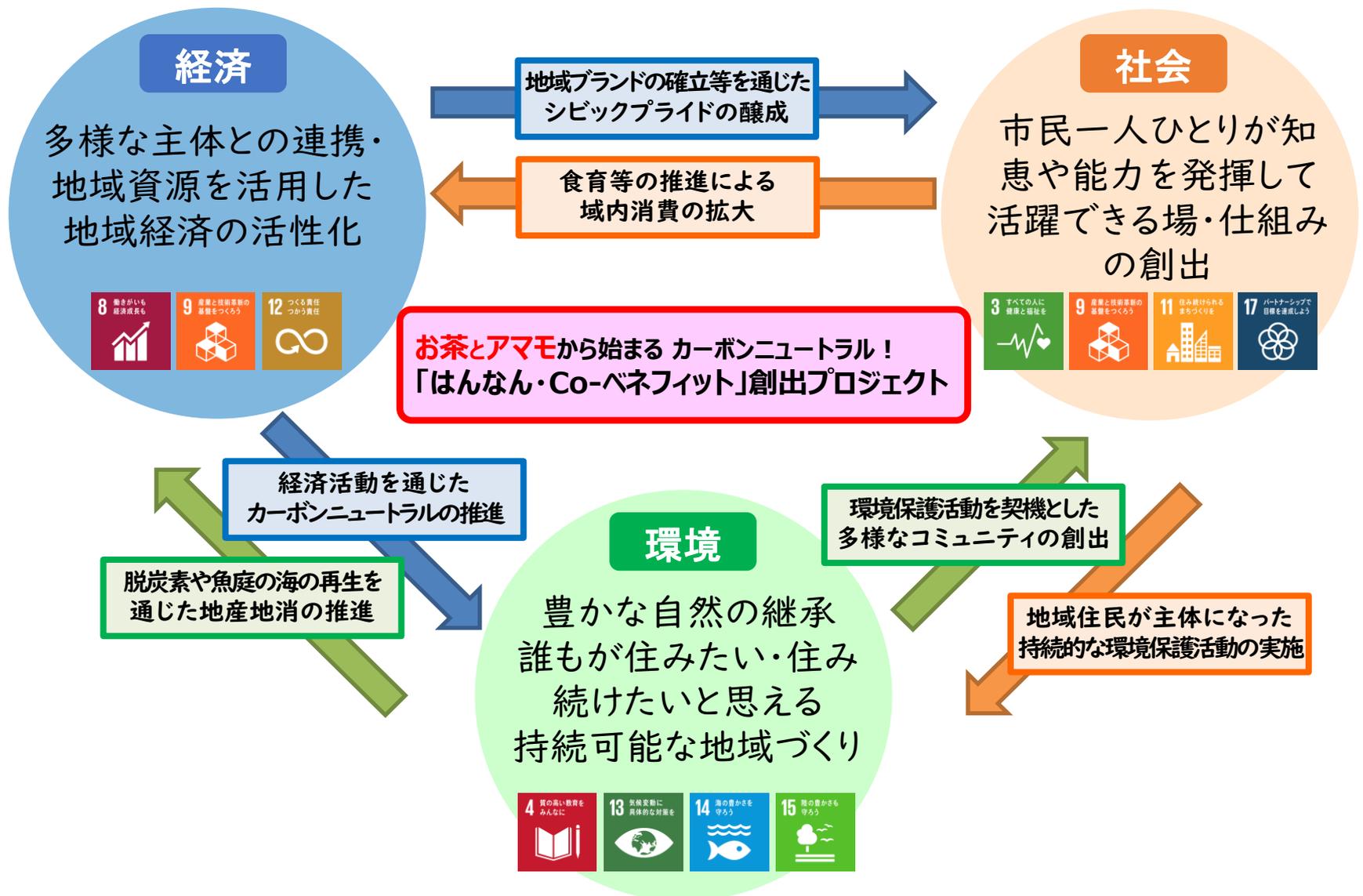
- ・市内の空き家等において、ワーキングスペースを整備（デジタル田園都市国家構想推進交付金の活用）

効果：サテライトオフィス設置企業の増加（5事業所）





# 新たに創出される価値（相乗効果）



# 自律的好循環の具体化に向けた事業の実施

**【デジタル田園都市国家構想推進交付金採択事業】**  
各種SDGs活動を登録・認証できる  
プラットフォームの構築

市内外企業

事業提案

SDGs登録制度の実施

WEBサイトによる発信

登録者間のマッチング  
プロジェクトを組成

KPIによる管理

SDGs活動のデジタル申請

専用WEBサイト上への公開

サポーター登録/アサイン

ローカル指標の設定  
カーボンオフセット認証

活動内容	ページアクセス数	問い合わせ数	応援したい数
SDGs7 ○○○	1020	121 (↑)	532 (↑)
SDGs6 ×××	4821	421 (↓)	3131 (↑)
SDGs9 △△△	313	21 (↑)	131 (↓)
SDGs11 ああ	94	8 (↑)	31 (↑)

登録者をサイト上で承認・データベース管理

登録者に向けた配信  
メール配信/WEBサイトお知らせ掲載

登録者の活動状況やサポーター数の把握

指標の見える化とアンケート調査

ニーズ・活動等を登録  
地域住民

アウトソーシング  
行政

ESG投資  
金融機関



創出協議会  
(仮称)はんなん・C.O.ベネフィット

里山・里海、人と自然が共生するC.O.ベネフィット型未来都市の実現



共創による新しい地域価値が創造され、  
誰もが輝ける舞台都市・阪南 を実現します!

